

米軍基地は日本防衛でなく、イラク戦争などアメリカの海外侵略のための戦争拠点です

米軍基地の「再編・強化」に反対



日米政府は沖縄県名護市の辺野古の美しいサンゴ礁の海を破壊して米軍基地をつくらうとしています。地元住民が反対して10年にわたって阻止しています。沖縄県民の8割以上が反対を表明しています。こんな暴挙を絶対に許せません。

未来永劫の駐留でいいのか? 河野洋平衆院議長

「もう約半世紀も続いている米軍の駐留が未来永劫続くかどうか、問われる。仲間であっても別の国の軍隊が駐留する状況が続くことをわが国の存在の前提とするのでなく、そういう状況(米軍が要らない友好的な)に向かって進めば、米軍の存在は軽くなるという考え方があってしかるべきではないか」(「神奈川新聞」2月6日付)

アメリカは座間基地(神奈川県)に米本土から第一軍団司令部を移設するなどの提案をおこなっています。また自衛隊が基地を共同使用し、海外でも共同で作戦をすすめることを協議しています。

第一軍団司令部は中東からアジアまでの戦争を指揮する司令部です。こんな司令部を置くと、日本はアメリカと一緒に世界各地で戦争をすすめる国になってしまいます。

米軍基地の強化・永久化に反対して、全国各地で住民ぐるみの反対運動が盛んです。

沖縄・下地島では、住民の過半数が参加する町民大会が開かれ、基地誘致決議をひっくり返しました。座間市では市長を先頭に住民ぐるみで反対署名運動がはじまっています。

沖縄・普天間基地では5月15日、山口・岩国基地では6月19日に基地包囲行動がおこなわれます。

いま日米政府は、米軍基地の「再編」協議をすすめています。これは、「世界の中の日米同盟」にふさわしく、アメリカが世界でおこなう戦争に在日米軍基地がより役立つように強化する危険な計画です。いま必要なのは、基地をなくすことです。